

日本工業大学駒場中学・高等学校



外観

東京都目黒区駒場に所在。工業教育に特化してきた歴史を持つが、中高一貫コースで進学型を掲げて改革を推進。2021（令和3）年4月からは、工学科の生徒募集を終了し、普通科専一校として、新たなスタートを切った。



女子ラウンジ 入口

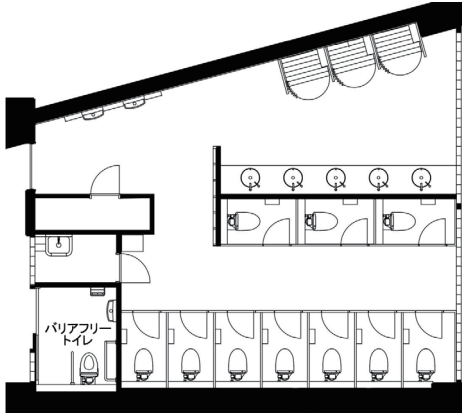
普通課進学型への移行に伴う女子生徒数の増加に対応するため、女子トイレと更衣室を含んだ女子ラウンジを2Fに設置。女子ラウンジの横には、これまで同階になかったバリアフリートイレが新設された。



女子ラウンジ

女子ラウンジでは、扉とカーテンで空間を仕切り、体育や部活動の際の更衣室として利用できる空間としている。

トイレ図面



水まわりの特長

改修の経緯

1907（明治40）年に創立した「東京工科学学校」を前身とする「日本工業大学駒場中学・高等学校」は、中堅技術者の育成を掲げて工業教育に特化してきた歴史があるが、時代の進行とともに4年制大学への進学希望者が増え、平成20年度より普通科を設置。中高一貫コースは男女共学とし、大学進学型の教育運営を強化してきた。さらに令和3年度からは、工学科の生徒募集を終了し、普通科進学型として、新たにスタートした。教育理念は、“旺盛な探求心と共に優しく強い（つよい）心を育み、未来社会に生きる力を身に付ける”。基礎学力の徹底的な習得という土台づくりをしながら、進学型・普通科専一校の実現に向けて大学進学支援を強化し、難関大学の進学成果をさらに積み重ねていく。

トイレの特長

近年普通科進学型への移行に伴い、女子生徒が増加。これまで大便器の数が多く設置された女子トイレは地下1Fと4Fにしかなく、2Fの教室を拠点とする女子生徒のトイレ利用には、ほかの階へ移動しなければならないという負担をかけていたことから、今回の改修工事で、男女トイレを女子専用のトイレへ変更。女子生徒のコミュニケーションスペースと更衣室を兼ねた女子ラウンジを更新した。女子生徒からは「きれいになってよかった」「トイレの数が増えてよかった」といった声が出ている。また今回の改修で、これまで2Fになかったバリアフリートイレも新設。車いす利用者などさまざまな利用者に配慮したトイレが完成した。



女子トイレ 全体

壁を覆うグリーンのパーテーションが爽やかな印象的の空間。屋外に植えたホップが、夏にはグリーンカーテンとなり爽やかな印象をもたらすことから、トイレ内にもそのイメージを連想させる内装を取り入れた。



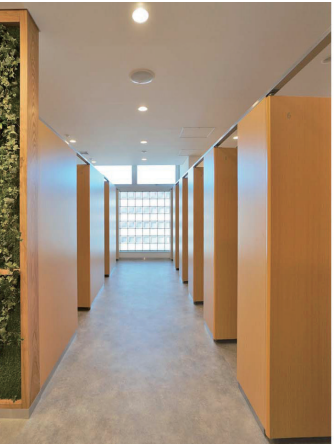
女子トイレ 洗面コーナー

ガラスブロックからの光と鏡裏の間接照明が優しく空間を照らす洗面コーナー。水栓金具は非接触で利用できる自動水栓とオートソープディスペンサーを設置している。



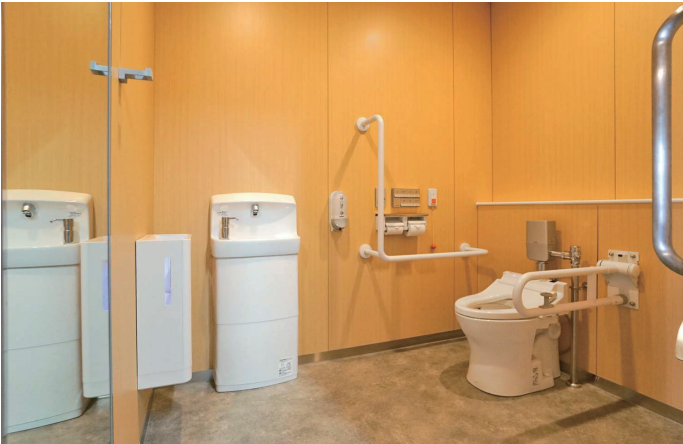
女子トイレ
フィッティングコーナー

洗面コーナーの向かいにはフィッティングコーナーを設置し、更衣室まで移動せずにトイレ内で着替えができるよう配慮している。



女子トイレ
大便器ブース

明るい木目が優しい雰囲気を演出する大便器コーナー。大便器ブースには、衛生面に配慮して非接触で洗浄できるセンサースイッチや、緊急時に対応するため非常用呼出ボタンをすべてのブースに設置している。



バリアフリートイレ

改修以前は、2Fにバリアフリートイレがなかったため、今回の改修で車いす利用者などさまざまな利用者に配慮したバリアフリートイレを設置している。



図書館

2022（令和4）年、リニューアルされた図書館。ベンチやコーヒーマシンが設置され、カフェのような居心地のよい空間となっている。従来の図書館の2倍の蔵書数を誇る。

建築概要

名称	日本工業大学付属駒場中学・高等学校
所在地	東京都目黒区駒場1-35-32
施主	学校法人日本工業大学
設計	平野敏之建築研究所
施工	建築 鹿島建設株式会社 設備 大成温調株式会社
竣工年月	（改修）2022年9月
敷地面積	9,362㎡
建築面積	3,338㎡
延床面積	13,598㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、鉄骨造・地下1階、地上4階
おもなTOTO使用機器	
パブリックコンパクト便器・フラッシュバルブ式:CFS494MNNNA	
ウォシュレットPS（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）:TCF5534系	
センサースイッチ:TES46MR／洗面器:LS703	
壁掛手洗器:LSE870BSFRM系／台付自動水栓:TLE26007J	
自動水石けん供給栓:TLK07002J／電気温水器:REAH03B1系	
ハンドドライヤー:TYC420WC	